

令和6年7月23日

竜神地域会議

会長 永田 光男 様

豊田市長 太田 稔彦

検討結果報告書

地方自治法（昭和22年法律第67号）第202条の7第2項の規定に基づき諮問し、答申を受けたことについて、下記のとおり報告します。

記

- 1 報告事項 令和6年1月23日に竜神地域会議から受けた『（仮称）ミライ構想』のめざす姿やまちづくりの基本的な考え方、都市構造に関する答申についての検討結果は別紙のとおり
- 2 主管課名 企画政策部 企画課、都市計画課

竜神地域会議からの答申に対する検討結果

1	答申内容	(1) 全体共通の意見 ①表現・言い回し等に関すること 日常生活ではあまり使わない言葉や、言い回しに馴染みがないものが多く、市民に理解されにくい。こうした計画こそ「市民目線」が大切であり、わかりやすく、親しみやすい（理解しやすい）表現にする必要がある。
	市の考え	表現については、市民の皆様が理解しやすい説明や表現を工夫していきます。 計画自体についても、市民の皆様にとって分かりやすい計画とするとともに、手に取りやすい図書となるよう工夫していくほか、動画など様々な媒体を活用しながら、まちづくりの方向性を市民の皆様と共有していく考えです。
2	答申内容	(1) 全体共通の意見 ②過去の総合計画の成果と9次総合計画のミライ構想へのつながり 特に8次総合計画における成果や残された課題の分析、新たな課題（コロナ禍を経て見えた課題など）への考え方などが示されないまま、9次総合計画の方向性を示された印象を受ける。過去の総合計画の分析結果や新たに見えた課題等を整理し、「9次総合計画のミライ構想」へのつながりを明確にする必要がある。
	市の考え	ますます変化が激しく、予測困難な社会が訪れる中で対応すべき課題等については、豊田市の特性や強み、豊田市を取り巻く環境変化として「計画の背景」等において記載を工夫していきます。 第8次豊田市総合計画における成果等については、事業の進捗管理を行う中で、事業の年次計画と実績の差から進捗状況を把握し、適宜、見直しを行うローリングシステムにより管理し評価を行っています。なお、結果については市ホームページで公表しています。 また、第9次豊田市総合計画では、これまでの計画が取組の固定化につながりやすいという反省を踏まえ、社会環境の変化に対応して、注力が必要な取組を柔軟に展開することを重視しており、常に取組を見直していく計画としていく考えです。

3	答申内容	(1) 全体共通の意見 ③具体性について 全体的に表現が抽象的過ぎるので、もう少し具体的な目標値・目標レベル等を示すべきである。また、「足し算にかけ算」など、資料を読むだけでは具体的にイメージすることが難しい内容が多く見受けられる。解説がなければわからない資料では、広く市民に理解してもらう・意識（イメージ）してもらうことは難しい。
	市の考え	今後5年間で特に注力する取組の方向性をとりまとめる「(仮称)ミライ実現戦略2030」における目標値など施策に対する指標設定を予定しており、今後検討を進めていきます。 例示を含め表現については、市民の皆様が理解しやすい説明や表現を工夫していきます。なお、計画自体についても、市民の皆様にとって分かりやすい計画とするとともに、手に取りやすい図書となるよう工夫していくほか、動画など様々な媒体を活用しながら、まちづくりの方向性を市民の皆様と共有していく考えです。
4	答申内容	(2) めざす姿について ①良いと感じた点 「継承」に書いてあることはすべて共通しており、一貫性がある。様々なライフスタイルが受け入れられることはこれからの時代に重要である。
	市の考え	ご意見のとおり、多様化する価値観やライフスタイルを受け入れ、誰もが将来に希望を持ち、自分らしく安心して暮らせる社会を目指していく考えです。
5	答申内容	(2) めざす姿について ①良いと感じた点 「つながり」の重視、「次代を担う子どもたちに継承する」視点は大切である。
	市の考え	ご意見のとおり、様々な「つながり」を通じて多様な価値をつくりだし、市民一人ひとりが愛着や誇りをもって、これらの魅力を次代を担うこどもたちにつないでいくことが大切であると考えています。

6	答申内容	(2) めざす姿について ②より良くするため（なると思われる）には なぜ「つながり」が少なくなっているのか理由を考え、「つながり」とは何をどうするのかを具体的に提示してはどうか。また、世代を超えた「つながり」をどうすれば維持できるのか提案できると良い。
	市の考え	価値観やライフスタイルが多様化したことに加え、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、「つながり」や人間関係が希薄化したことが大きな課題であると捉えています。 このことから、「つながり」の創出や維持に係る具体的な取組について、「(仮称) ミライ実現戦略 2030」において検討していきます。
7	答申内容	(2) めざす姿について ②より良くするため（なると思われる）には 「認め合い・気づき・学び合い」に「行動」を追加し、一歩踏み出せるような表現にしてはどうか。
	市の考え	ご意見のとおり、「気づき合い」「認め合い」「学び合い」によって自分らしく豊かな人生を実現し、地域のミライを創る人づくりを進めていきたいと考えています。 なお、「行動」に係る主体性の視点については、将来像の実現に向けた行動規範となる「まちづくりの基本的な考え方」の中で表現していくことを考えています。
8	答申内容	(2) めざす姿について ②より良くするため（なると思われる）には 「住みたい街・安全安心の街」をめざす等、具体的でわかりやすい文章を追加してはどうか。

	市の考え	将来像については時代が変わっても大切にしたい姿として掲げるとともに、子どもを含め誰もが共有できる言葉で示すことを意識しており、「つながる つくる暮らし楽しむまち・とよた」を継承することを考えています。 なお、「住みたい街、安全・安心の街」については、「(仮称)ミライ実現戦略2030」において、取組方針「ともにミライにつながるまちをつくる」の考え方として、「こどもたちにとって安全・安心で持続可能なまちの基盤をつくる」として、取組の前提として示していきたいと考えています。
9	答申内容	(2) めざす姿について ②より良くするため(なると思われる)には 豊田市は県内でも交通事故による死者数が多く、毎年のように「交通死亡事故多発非常事態宣言」が発令されている。竜神地域においても交通事故多発による安全意識の高まり、安全施設や対策施策への要望が多い。このような状況下で、豊田市のミライの項目に安全都市(交通含め)への施策や展望項目が見当たらないので、その視点を追加してはどうか。
	市の考え	ご意見のとおり、安全・安心は暮らしを考える上で非常に重要なキーワードであり、将来都市構造の中でも安全・安心については表現していきたいと考えています。 また、「(仮称)ミライ実現戦略2030」において、取組方針「ともにミライにつながるまちをつくる」の考え方として、「こどもたちにとって安全・安心で持続可能なまちの基盤をつくる」として、取組の前提として示していきたいと考えています。
10	答申内容	(3) まちづくりの基本的な考え方について ①良いと感じた点 目まぐるしく環境が変わっていく時代なので、3つの「変える」を常に意識するような視点をもつことは、良いと思う。
	市の考え	ご意見のとおり、3つの「変える」をまちづくりの基本的な考え方の1つとして策定を進めていきます。

1 1	答申内容	(3) まちづくりの基本的な考え方について ①良いと感じた点 SDGsの観点からも「あるものを生かす」という視点は、非常に重要である。
	市の考え	ご意見のとおり、SDGsの観点からも「『ないものを補う』から『あるものを生かす』発想へ」をまちづくりの基本的な考え方の1つとして策定を進めていきます。
1 2	答申内容	(3) まちづくりの基本的な考え方について ②より良くするため（なると思われる）には 「多様な主体」とあるが、民間が行政とバランスを取りながら主体となっていくという認識で良いのか。現在の言い回しでは、行政が何もやらないという印象が強いので、「民間と協力して」等、表現を改めた方が良い。
	市の考え	御指摘の点については、「(仮称)ミライ構想」において、「行政が担うべきことはしっかりと役割を果たしつつ、市民や民間事業者などの多様な主体が主役となってまちづくりに参画し、楽しみながら活躍できる環境づくりを行い、「共働によるまちづくり」を更に進めることを意識します」と掲げていく考えです。 なお、行政として、つなぐ役割や場の提供を促進することなど、様々な役割や関わり方があることは変わらないと考えており、特に、様々な主体（市民・団体・事業者の方など）が様々な方のニーズを受け止めておられると認識しており、そうした皆様との共働など、行政の果たすべき役割について引き続き取り組んでいきます。
1 3	答申内容	(3) まちづくりの基本的な考え方について ②より良くするため（なると思われる）には 3つの「変える」を「替える」「換える」「代える」という表現にすると、何を変えるのかがわかりやすく、より伝わりやすいのではないか。
	市の考え	「変える」ものとしては、「見方」「思考」「行動」であり、いずれも「変える」の表記を用いています。 ご意見を参考にさせていただきながら、「(仮称)ミライ構想」をまとめていく中で、市民の皆様が理解しやすい説明や表現を工夫していきます。

14	答申内容	(3) まちづくりの基本的な考え方について ②より良くするため(なると思われる)には 「次代を担う子どもたちに継承する」ことをめざしているので、子育てしやすい街づくりという考え方を追加してはどうか。
	市の考え	第9次豊田市総合計画では、「こども」起点や「こども」視点で物事を捉え、取組を進めることが大切と考えています。 こどもが多様な場で、多様な人と関わり、多様な経験ができる機会の創出や、人生100年時代といわれる中で、豊かな経験・活力を次世代につなぎ、大人たちがいきいきと暮らす姿を伝えることで、こどもたちのミライに夢と希望を育むことができるよう取組の検討を進めます。
15	答申内容	(3) まちづくりの基本的な考え方について ②より良くするため(なると思われる)には 「あるものを生かす」を「あるものを活用する」という表現にした方がイメージしやすいのではないかと。
	市の考え市の考	施設やインフラといった物質的なものだけでなく、仕組みやこれまで蓄積されたノウハウや経験なども生かしていくという狙いを持って「あるものを生かす」という表現をしています。
16	答申内容	(3) まちづくりの基本的な考え方について ③その他 めざす姿からまちづくりの基本的な考え方への流れがわからない。
	市の考え	将来像(めざす姿)を実現するために、市民と行政が共通して重視する価値観・行動基準として「まちづくりの基本的な考え方」を示しています。ご意見を参考にさせていただきながら、「(仮称)ミライ構想」をまとめていく中で、市民の皆様が理解しやすい説明や表現を工夫していきます。

17	答申内容	(3) まちづくりの基本的な考え方について ③その他 「あるものを生かす」には、実施候補を模索して市民へ問うことが必要である。考え方を変えるには、根拠を示す必要がある。
	市の考え	第9次豊田市総合計画は、市民の皆様と行政がともに「ミライのとよた」をつくるための計画としています。その中で、将来像を実現するために、市民と行政が共通して重視する行動規範として「まちづくりの基本的な考え方」を掲げること考えています。 こうした考え方をもとに、具体的な取組を行う際には、市民への説明や意見交換を実施することが大切であると考えています。
18	答申内容	(3) まちづくりの基本的な考え方について ③その他 つながる街づくりのためには、行きたいところへ移動するための手段や方法が必要である。それがあって初めて、世代を超えて楽しく集える場所作りができる。
	市の考え	交通手段については、地域の実態に合わせて「自助・共助・公助」により、多様な移動手段を組み合わせる確保していきたいと考えています。
19	答申内容	(4) 都市構造について ①良いと感じた点 人生100年時代を見据えた豊田市の未来を考えるにあたり、最も重要なことは「交通ネットワークの強化」だと思う。豊田市の中心（拠点）からいろいろな方面に行きやすくする「交通ネットワークの強化」は非常に良い。ただ、「交通ネットワーク」といっても電車やバスなど様々な交通手段があるので、今後、総合計画に記載していく際には、何をどうするかを具体的に記載していくことを検討したほうが良い。
	市の考え	ご意見のとおり、交通ネットワークの強化は、今後も変わらず重要であると捉えています。具体的な内容については、地域特性やニーズにあった交通手段を確保していく必要があるため、総合計画では取組の方向性を示し、具体的な内容は個別の計画の中で実施していきたいと考えています。

20	答申内容	(4) 都市構造について ①良いと感じた点 すべてを一局集中するのではなく、分散化するというのは市域の広い豊田市では重要である。市の中心から副の中心（拠点）を決め、市の中心まで行かなくても楽にいろいろな方面に行けるようになると良いのではないかな。
	市の考え	ご意見のとおり、地域特性を踏まえて居住や暮らし機能を集積・維持する地域を拠点に位置付け、拠点を中心とした利便性の高い市街地形成に向けた取組について検討していきます。
21	答申内容	(4) 都市構造について ②より良くするため（なると思われる）には 高齢化に向け、高齢者でも気軽に出かけられる交通手段を明確にし、モデルケースを提示できると良い。
	市の考え	高齢者等の人の移動については、都市部・郊外部・山村部の地域特性に応じた持続可能な移動サービスの実現を目指します。 交通手段については、地域の実態に合わせて「自助・共助・公助」により、多様な移動手段を組み合わせで確保していきたいと考えています。
22	答申内容	(4) 都市構造について ②より良くするため（なると思われる）には 「コンパクト+ネットワーク」は全体としてイメージがわかりやすい。 一方で、イメージがわからないという声もある。そのため、実際の計画では具体例を活用するなど、より市民にわかりやすい表現を期待する。

	市の考え	ご意見を参考に、具体的な取組に係る個別計画の中では具体例を示すなど、分かりやすい表現方法を検討していきます。
23	答申内容	(4) 都市構造について ③その他 四郷や浄水など、豊田市北部はショッピングエリアが増え、開発が進んでいるような印象を受けるが、南部は区画整理はされてもお店が増えることもなく、取り残されている印象を受ける。特に竹村駅は長年変化もなく古いままで、駅前の通りも閑散としている。雨天時は送迎車の往来は多いが道が狭く危険であり、夜間は治安の面でも不安を感じる。竹村駅が変化しない限り、この都市構造を実現することは難しい。
	市の考え	現在、市域南部においては、名鉄三河線の鉄道の高架化事業が進められており、竹村駅を含めた周辺地域は大きく変わっていくものと認識しています。地域のまちづくりを考えていく上で、ご意見も参考に検討していきます。
24	答申内容	(4) 都市構造について ③その他 市内の拠点間の移動に関する様々な移動手段を構築するには、地域タクシーや相乗りを活用できると良い。ただ、事故が起きてしまった場合の補償の問題など課題も多い。コロナ禍で離職したタクシーやバスの運転手を巻き込むなど、様々な人が参加した良い仕組みを構築できると良い。
	市の考え	ご意見のとおり、新たな仕組みづくりには解決すべき課題もあるため、より安全で快適な移動の確保に向け検討していきます。